

## 【理念】

## 「愛し愛される病院」

## 【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

## 【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

## ご挨拶

杉並リハビリテーション病院が101全ベッド回復期リハビリテーション病棟になり、13回目、令和二回目のお正月を迎えました。

回復期リハビリテーション病棟は、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの患者さまが、日常生活動作が安定向上され、安心して自宅にもどられ、さらに社会参加していくために、集中してリハビリテーションを行う病棟です。

皆様に“元気になって帰れます、ありがとう”と言っていただけの病院を目指して、必要かつ望まれているリハビリテーションを提供することを念頭において、365日毎日休むことなく、皆様のリハビリテーションに取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染対策として、ご家族の面会やリハビリテーション見学もお断りしていますので、患者さまにも、ご家族にとっても寂しい思いをいただいております。当院では、スマホやタブレットを用いてLINEにて“オンライン面会”や“ビデオ通話によるリハビリ現場の見学”を行っていますので活用いただくとよいと思います。

患者さまご家族の皆様ならびに地域から信頼され、地域に貢献する魅力ある元気な病院として、「愛し愛される病院」の理念の下、職員一同、今年も元気いっぱい、熱い思いで取り組んでまいります。



杉並リハビリテーション病院

院長 かどわき ちかふき  
門脇 親房

## 自宅復帰について ～「家に帰りたい」という思いを実現するために～

ソーシャルワーカーとしてこれまで多くの入院患者さまにお気持ちをうかがってきました。

そのほとんどの方が「家に帰りたい」「早く帰りたい」と元の生活へ戻ることを希望されます。さらに、その真意をうかがうと「家が落ち着く」「庭を眺めながら娘とお茶したい」「相撲を観ながら晩酌したい」「ペットに会いたい」「遠慮なく気ままに過ごしたい」「お帰りと言って孫を迎えたい」「ご近所さんが待っている」「自前の音響設備で音楽鑑賞したい」「サンマの塩焼きを熱々で食べたい」などなど、それまでのごく当たり前の日常であり、確かに自宅でなければ実現できないことばかりです。

一方、骨折や病気を発症したため身体が不自由になり、認知症状が進行し、判断能力が低下し、リハビリを精一杯行なったとしても、以前と同じようにいかないという現実もあります。患者さま本人にそうした現実の認識不足があることは、珍しくありません。安全性や介護負担などを考慮し、施設を選択するご家族の気持ちもまた自然なことです。

それでも、ご本人の意思は最大限尊重されるべきとつくづく思います。

なぜなら、自宅へ戻ることで、まず気持ちが元気になるからです。それは、慣れ親しんだ場所に戻れた安堵感、病院やスタッフの都合によらないご自身を中心とした生活の心地よさ、なのではないでしょうか。しかし、同時に自己責任も発生します。病院スタッフによる 24 時間の管理を受けない代わりに、ご自身で安全も健康管理も背負うこととなります。

ソーシャルワーカーとしては、ご本人の望む生活が少しでも長く続くよう、リハビリ担当者や病棟看護師の評価結果(何ができて、何ができないか)に基づき、その方の生活にどんなケアやサポートが必要となるかを見極め、ご本人が困ることなく安心して自宅生活へ移行できるよう、退院前からご家族やケアマネジャー・関係機関との連絡調整を行います。できないことや危険が多いことを理由に、最初から『自宅は無理』と諦めるのではなく、ご本人の思いを理解し、どうしたらそれが実現できるかをひたすら考え、地域に存在するサービスや社会資源を組み合わせ導入することで、自宅復帰の可能性を広げていくことが、私たちソーシャルワーカーの役割です。

### <当院の実績>

回復期リハビリテーション病棟として、『在宅復帰率 70%以上』が制度上求められていますが、当院は在宅復帰率の中の『自宅復帰率』においても 70%以上の実績を残しています。

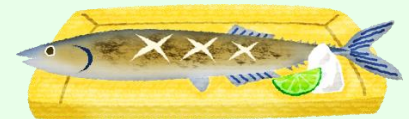
ケアマネジャーを始めとしたすばらしい地域資源に支えられた結果です。心より感謝申し上げます。

	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度
自宅復帰率*1(%)	79.8	79.9	75.3	74.7
在宅復帰率*2(%)	93.6	95.3	91.4	90.9
退院者数*3(名)	357	364	372	375

\*1 年間退院者数に対する自宅(親族宅含む)退院した者の割合。

\*2 年間退院者数に対する自宅(親族宅含む)および生活施設(特養/グループホーム/障害者施設/有料ホーム/サービス付高齢者向け住宅/軽費老人ホーム/ケアハウスなど)に退院した者の割合。

\*3 治療のために転院した者を除く



▲ 患者さまの日常の幸せを取り戻したい気持ちに寄り添うことが大切と実感しています。





## 院内における個人情報について

病院では、多数の患者さまやそのご家族さまについて、他人が容易には知り得ない個人情報を知る立場にあり、さらに、患者さまの診療や治療等の医療行為や健康保持のために善意の第三者に個人情報を提供する場面も多々あります。

そのような中、2003年に「個人情報の保護に関する法律」が成立、2005年4月に施行され、院内での個人情報の取り扱いは厳格化され現在に至っています。

法令上、「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であって、特定の個人を識別できるものをいいますが、ガイドラインでは死亡した後においても同等に取り扱うこととされています。また、「個人に関する情報」とは、氏名・性別・生年月日等に限らず、身体・財産・職種・肩書き等の属性を表す全ての情報で、映像や音声による情報も含まれています。

院内における個人情報の例としては、カルテ内容はもちろん、レントゲンフィルム・血液や尿などの検体も全て該当します。当院では、外来においては名前ではなく全て番号札にて診察や検査や会計等の案内を実施しており、スタッフステーションなどにおいては、離席時書類は裏返す、画面は閉じる等、患者さまの情報が第三者に情報が洩れることのないよう日々気を付けて業務にあたっています。

また、総合受付には「個人情報相談窓口」を設置し、年に一回、全職員を対象に個人情報に関する研修会を実施しております。

これからも職員一同、患者さまが安心して受診及び入院生活を送れるよう個人情報に関しては常日頃から細心の注意を払うように心掛けて参ります。



医事課 課長 もがみ たかひろ 最上 高宏

## 患者さまの声

ふれあい相談窓口（患者さまの為に相談・支援の窓口）や退院時のアンケートに寄せられたご意見・ご感想を掲載しております。

・「杉並りハビリ」はおいしいとの患者の間で評判です。新しく入ってきた患者さんも（ほかの病院に比べて）と皆さん言っています。（中略）これからはますます頑張ってください。応援します。（入院中Kさまより）



◀ お正月の行事食です

### 【栄養科より】

ありがとうございます。過去に頂戴した患者さまの声を受け、食事の満足度を上げるべく積極的に取り組んでいます。

・（入院中に）寝る部分が少ないなと思っていましたら、帰る間際になってこれでいいんだと思えるようになりました。皆様にお世話になってありがとうございました。

（退院時アンケートより）



### 患者さまの声



当院では、患者様からいただいたご意見・感想を大切にしております。

### 【看護師より】

単純に寝る時間が少なかったわけではなく、「元の生活にできるだけ近づけていくこと」を当院のリハビリを経て感じて頂けたのかと思います。回復の具合がよく感じられる言葉を頂戴しました。

貴重なご意見ありがとうございました

## ◆ 2020年9月～12月

9月から12月の4か月間における新入院患者は130名、

### 入院患者数と紹介元医療機関

紹介元医療機関は以下の通りです。(順不同、敬称略)

荻窪病院、杏林大学医学部付属病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、国立国際医療研究センター病院、田中脳神経外科病院、新渡戸記念中野総合病院、吉方病院、佐々総合病院、東京衛生アドベンチスト病院、立正佼成会附属佼成病院、東京通信病院、東京山手メディカルセンター、武蔵野赤十字病院、滝山病院、河北総合病院、NTT 東日本関東病院、三楽病院、東京女子医科大学病院、西東京中央総合病院、山中病院、順天堂大学医学部附属順天堂病院、東大和病院、城西病院（茨城）、東京警察病院、横須賀共済病院、久我山病院、世田谷北部病院、国立病院機構災害医療センター、目白病院、公立昭和病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、横浜市立脳卒中神経脊椎センター、練馬光が丘病院、埼玉県済生会栗橋病院、保谷厚生病院、慶應義塾大学病院、三重県立総合医療センター、三鷹中央病院、東京大学医学部附属病院、公立福生病院、（他5か所）

以上、44か所 ご紹介ありがとうございました。

## ～当院の現況～

	2020年10月	2020年11月	2020年12月
病床利用率	87.1%	81.7%	87.2%
入院延べ患者数	2,761人	2,513人	2,768人

在宅復帰率（直近3ヶ月）…95.4%

重症患者割合（直近6ヶ月）…40.6%

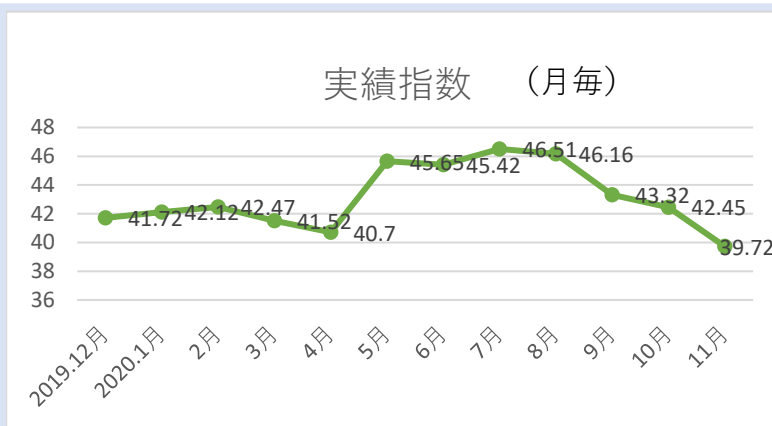
重症患者回復病棟改善割合（直近6ヶ月）…66.2%

※日常生活機能評価で10点以上の新規患者割合

※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

## ～リハビリ評価～

実績指数	
各患者の	FIM得点の {運動項目} の退棟時と入棟時の差
の総和	
各患者の	入棟から退棟までの在棟日数
状態毎の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数	
の総和	



### 病院 HP

現場スタッフの声を動画で公開しております



### Facebook

院内の雰囲気をご覧いただけます



採用関係のお知らせを配信しております



## 編集後記

新型コロナウイルスが収まる気配がなく、不安に過ごされている方が多いかと思えます。今号では、当院で働く職員が患者さまとどのように寄り添っているかということを中心に取り上げました。院内の様子が少しでもわかって頂けたら幸いです。

（編集委員）

## 交通のご案内



- 発行 行：杉並リハビリテーション病院
- 発行責任者：門脇親房
- 編集 集：総務課